

【高等学校「情報Ⅰ」 情報デザイン】①

高知県

学習指導と学習評価の工夫・改善点の概要

目的や受け手の状況に応じた、適切かつ効果的な情報デザインを考察させるため、例題をもとにグループで討論し、まとめる。

評価規準

【思考・判断・表現】 目的や受け手の状況に応じた情報デザインを考え、評価し、改善に向けた表現ができる。

【主体的に学習に取り組む態度】 情報デザインの考え方や方法に基づいて考えようと粘り強く取り組み、一連の活動を振り返ることを通して、自らの学習を調整しようとしている。

【本時の流れ】

情報デザインとは？

【準備①】

情報の見せ方（表現）

【準備②】

情報デザインの評価・検討・発表

【思考・判断・表現】

振り返り・自己評価

【主体的に学習に取り組む態度】

学習指導と学習評価の工夫・改善の具体的な取組

- ①情報デザインとは
情報を適切にデザインするためには、人間の行動や能力を考慮し、情報の受け手のことをよく考えることが重要
➡演習を行う上での基礎知識（準備①）
- ②情報の見せ方
文字、配色、抽象化した表現、グラフ・表・図形による可視化、構造化
➡演習を行う上での見方・考え方（準備②）
- ③情報デザインの評価・検討・発表 【机間指導・ワークシート】
【演習】情報デザインの比較（例題）表データ、詐欺グラフ、ホームページ
➡準備①②をふまえて、グループで評価、検討、発表、まとめ
- ④振り返り・自己評価 【Formsによる振り返り】
本時の授業で何を学ぼうとして、どのように学んだか、どのように生かすか
➡粘り強く取り組もうとしたか、自らの学習を調整しようとしているか

「共通教科情報科「情報Ⅰ」の学習指導と学習評価の工夫・改善について」

「情報デザイン」

はじめに、情報デザインとは何か、情報を発信する側と受信する側などそれぞれの立場を考え、どのように見せ方を工夫しているかについて説明があったが、一方的な講義型となった。生徒個々に気づかせるための時間設定や問いかけ等の工夫があれば、さらに良い状態で次の演習につながったと考える。

情報デザインの演習（評価・検討・発表）では、準備①②（情報の定義づけ、情報の見せ方）をふまえ、表データの比較や詐欺グラフなど教材が非常に効果的であったため、各グループで様々な見方・考え方が出る議論となった。

振り返りでは、Forms で回答した内容から粘り強く取り組んだか、自己調整しようとしたかの評価を行っている。また、生徒の回答データをテキストマイニングし、次の授業に反映させるなど指導上の工夫ができています。

Jamboard や Forms など、1人1台端末を活用した授業が十分に実践できていた。